

◇ 梅雨入り ◇

梅雨期は大雨による災害の発生しやすい時期です。更には、梅雨明け後の盛夏期に必要な農業用の水等を蓄える時期でもあります。

一方、曇りや雨の日が多く日常生活にも様々な影響を与えることから、社会的にも関心の高い事柄でもあり、気象庁でも天候経過と1週間先までの見通しをもとに梅雨入り明けの速報を発表しています。

今年も沖縄で5月21日に梅雨入り、東北北部では6月23日に梅雨入りが発表になりました。

今年は平年より遅い梅雨入りですが、例年通りもしくは例年よりも早い梅雨明けが予測されています。

◇ 湿気の問題 ◇

梅雨時期は曇りや雨の日が多くなり、湿度が高くなります。また、晴れ間が少ないため、洗濯物の室内干しの頻度も増えます。

室内の湿度が高くなるとカビやダニなどの発生、押し入れ内の臭い、タンス後ろのシミなどの発生原因にもなりますので、エアコンによる除湿をお勧めします。

エアコンの除湿運転は、弱冷房でエアコン室内機内部のフィンを冷やして、結露を発生させて除湿を行うため、気温が低い場合は部屋が冷えすぎてしまう弱点があります。

室温を下げないようにして除湿する「再熱除湿」という機能がついた機種もあります。梅雨対策を含めた除湿機能を得たい場合は、この再熱除湿の機能がついたエアコンがお勧めです。

◇ 換気扇・エアコンのメンテナンス ◇

2003年7月に24時間換気が義務化となり、それ以降に建てられた住宅については24時間稼働させる換気扇が設置されています。

換気扇にフィルターが設置されている場合は、メンテナンスをすることをお勧め致します。メンテナンスを怠ると、目詰まりなどを起こし、換気扇本来の性能を発揮することができなくなります。

◇ 全熱交換式換気扇

「ファースの家」には全熱交換式換気扇が標準装備されています。全熱交換式換気扇の機能は、外部の温度を室内の温度に近づけて換気する機能と湿度を室内の湿度に近づけて換気をする機能も有しております。

フィルターが目詰まりを起こすと温度交換率・湿度交換率が本来の性能を発揮することができない場合や、モーターへの負荷が増え消費電力が大きくなってしまふこともあります。

梅雨対策、そして夏場に向けて換気扇のメンテナンスを行うことは、電気代・省エネにも有効的です。

設置されている機器には、メーカー毎にメンテナンス期間の目安を公表しており、機種毎に確認の上、メンテナンス（清掃）を行って下さい。

設置されているフィルターによって清掃方法は様々で、水洗いできるもの、できないものなどがあります。また、メンテナンス期間の目安が比較的、短くこまめにメンテナンスする必要があるものもあります。

◇ エアコンのフィルター

エアコンのフィルターは、こまめに掃除しないと埃がたまりやすくなります。目詰まりを起こしたままにして放っておくと稼働負荷が増えるだけでなく、冷暖房の効果・除湿能力を弱め、電気代が増大します。フィルターを掃除して、冷暖房の効率を本来の性能に戻し、電気代の無駄をカットしましょう。

◇ 梅雨明け後は猛暑の予想 ◇

昨年の夏は、1898年の統計開始以降、日本の観測史上最も暑い夏となりました。7月には北日本で統計開始以降、7月として観測史上1位の高温となり、猛烈な暑さは全国へ広がりました。

8月に入っても高温は解消されず、北日本・東日本で統計開始以降、8月として観測史上1位の高温となりました。

また、9月に入っても高温は解消されることなく、東日本・西日本で統計開始以降、9月として1位の記録的高温になりました。

今年の夏について、気象庁は日本付近では暖かく湿った空気が流れ込みやすくなる見込みで、この夏の平均気温は平年より高くなると予想しています。

熱中症対策等、事前に準備を進めていくことをお勧め致します。

(著・研究開発室 藤木幸太)

建築情報や知識は、ファース本部オフィシャルサイトで！



ファースの家

検索

